

コスト抑えた外断熱

南青山建築工房 賃貸向けに提案

シー・エフ・ネッツグ
 ループの南青山建築工房
 (猪俣淳社長)は、建物
 全体を断熱材で包み込む
 外断熱工法「イフスジェ
 イ・システム」の販促に
 向け、賃貸住宅オーナー
 などへの提案を強化す
 る。

同工法の断熱材は発砲

スチロール製のEPS。補強材にファイバークラスメッシュを使うことで軽量を維持しながら耐久性、耐震性を確保した。建物の外側を隙間なく封じ、高い断熱機密性を実現することで電力の消費を従来の3分の1まで軽減する。

表面には防水塗料材「ガーディアン」を撒布して湿気や漏水による被

害を防ぐ。使用するすべての素材は雨風を防ぐが、水蒸気のような微粒子の水分は透す性質があるため結露を抑え、カビやタニから建物を守る。外断熱工法はコスト高

で大きく広まらなかった。同工法は施工が容易でデザインの自由度も高いため、戸建て住宅からマンションに至るまでの幅広いタイプの居住用物件のほか、東京アイズニールランドやユニバーサルスタジオといったファミリーメント施設にも使われている。

今後はグループで展開する収益物件にも同工法の使用比率を高めていく。